

第4章 重点項目の考え方

1 重点項目

男女共同参画の実現に向けた取組は、広範多岐にわたるものであり、どの事業を行うに当たっても男女共同参画の視点を持って進めていく必要があるとともに、さらに男女共同参画を進める上では、的を絞って重点的・集中的に取り組んでいく必要があります。

そこで、長期的な展望に立った基本方針の推進と合わせ、これまでの状況を踏まえ、次の3点を重点項目として取組を進めていきます。

【重点項目1】 男女平等・共同参画と多様性を認め合う社会の実現に向けた意識づくり

男女共同参画社会を実現するために最も重要なことは、「意識改革」です。

性別に関わりなく自分らしく生きることは男性にとっても女性にとっても重要なことですが、「男性は仕事、女性は家事や育児」という固定的性別役割分担意識は女性16.0%に対し、男性22.1%と男性のほうが強く持っていることから、意識改革が重要です。(P13図8)

そのためには、子どもの頃から男女平等意識を醸成していくこと、男性にとっても男女共同参画が今後ますます重要になってくることを、幅広い市民に啓発していくことが大切です。

男女共同参画に関する認識を深めることが、あらゆる事業の基本となることから、わかりやすい広報・啓発活動を様々な機会を通じて引き続き進め、意識づくりを行う必要があります。

主な取組

- ・固定的性別役割分担意識や性差に関する偏見の解消を図るため、あらゆる年齢層のすべての人たちに対し、広報誌やリーフレット、ホームページ、SNSなどを活用し、男女共同参画の広報、啓発活動に努めます。
- ・子どもの頃から家庭や学校を通して男女共同参画の重要性を伝えることに努めます。
- ・性の多様性を認め合い、尊重し、誰もが自分らしく生活できるよう、性的指向及び性自認の多様性に対する理解増進に向けた意識啓発に努めます。

【重点項目2】 働く女性のための環境整備

少子高齢化が進む中、国においては平成27(2015)年に女性活躍推進法を制定し、女性の職業生活における活躍を推進して、豊かで活力ある社会の実現を目指しています。また、女性の視点や潜在的な労働力を活かすことは経済の活性化に結び付く重要なことです。

しかし、女性には結婚・出産・子育て・家事・介護等様々な理由により、就労や就業継続の面で多くの課題を抱えている実態が見えてきます。

こうした働く女性が直面する課題に対し、総合的な対策を講じ働き続けられる環境を整備することは、男女共同参画社会を推進していくためには重要なことであり、積極的に取り組んでいく必要

があります。

主な取組

- ・働きたい女性のための就職・再就職を支援するため、関係機関との連携による各種セミナーなどを開催するほか、女性が働きやすい子育て応援企業を紹介します。
- ・結婚・出産や介護をしても働き続けられるよう、企業に対して、仕事と家庭の両立支援、介護離職防止に向けた支援など、国の制度を周知します。
- ・子育て情報の提供や待機児童対策などにより、子育てしやすい環境づくりに努めます。

【重点項目3】ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備

社会的・経済的環境やライフスタイルが変化する中で、働く人がその能力を十分に発揮するためには、性別や年齢、その置かれている状況にかかわらず多様な人材が仕事に就ける社会にすることが大切です。

しかし、現実の社会には、「安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない」「仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない」「仕事と子育てや介護との両立に悩む」など、仕事と生活の間で問題を抱える人が多くみられます。

市民一人ひとりが、仕事にやりがいや充実感を感じながら働き、責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期・中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会づくりを行う必要があります。

主な取組

- ・市職員における男性の育児休業の取得状況を公表するとともに、企業に向けて、男性の育児休業等に対する支援について、国の制度を周知します。
- ・男女が共に家事・育児・介護等を担うことができるよう、体験型研修会や情報提供を行います。

2 数値目標

重点項目は、計画の中間年である令和10(2028)年度までの数値目標を設定し、進捗状況を把握した結果を効果的な推進につなげていきます。

	項目	現状値	目標値
1	家庭生活上で男女が平等となっていると思う人の割合	50.3%	55.0%以上
2	地域社会で男女が平等となっていると思う人の割合	51.5%	55.0%以上
3	職場で男女が平等となっていると思う人の割合	41.9%	45.0%以上
4	男女共同参画の考え方が必要だと思う人の割合	81.1%	85.0%以上
5	市職員における男性の育児休業の取得状況	52.8%	向上